



コミュニティ・スクールだより

2つ目の柱 学校運営協議会の一層の充実

2つ目の柱「**学校運営協議会の一層の充実**」に向けて取り組まれている好事例を紹介します。

1. 上宇部中学校 「生徒が主体となった保護者・地域住民・教職員との熟議」

○幅広い児童・生徒の参加・参画による熟議の一層の充実と学校課題解決の推進

上宇部中学校の「令和6年度コミュニティ・スクール推進計画書」に、「学校課題について生徒を交えた4部会（地域貢献・学習支援・健康安全・環境美化）での熟議の実施」とあります。

第1回学校運営協議会では、生徒会役員10名が4部会に分かれて、準備・進行・報告を担った熟議が行われました。PTA役員10名も加わり、各部会で課題について解決方法等が話し合わせ、具体的なアイデアがたくさん出されました。発表を聞いた地域の方から「どの部会も的確にまとめていて素晴らしい」と称賛され、生徒も意気揚々としていました。



今後、さらに多くの生徒たちの熟議への参画や、生徒が主体となった活動が期待されます。

令和6年度 第1回宇部市地域学校協働活動研修会のお知らせ

学校づくりと地域づくりの一体的な推進をめざして取り組まれている学校・地域双方の事例発表をもとにした研修会を、下記のとおり開催します。

1. 日 時 令和6年7月25日（木） 18時00分～20時00分

2. 会 場 ときわ湖水ホール 大展示ホール

3. 内 容 ○講話（1）「地域との連携による特色ある学校づくり」

宇部市立岬小学校 校長 水野 直樹 様

岬地区社会教育推進委員会 会長 高山 キヨエ 様

○講話（2）「地域学校協働活動による人づくりと地域づくり」

山陽小野田市教育委員会学校教育課 スクールアドバイザー

前埴生地域交流センター長 中村 達実 様

○情報交換・協議 テーマ「学校・地域の実情・課題をふまえて、今後どのような取組ができるか」

4. 対象者 学校づくり関係者（学校運営協議会委員、教職員等）

地域づくり関係者（ふれあいセンター職員、社会教育推進委員会委員、地域学校協働活動推進員等）

5. 申込先 地域の小・中学校、ふれあいセンターまでお願いします。



来てね！